

【令和6年】

■管内における事故発生状況(10月速報値)

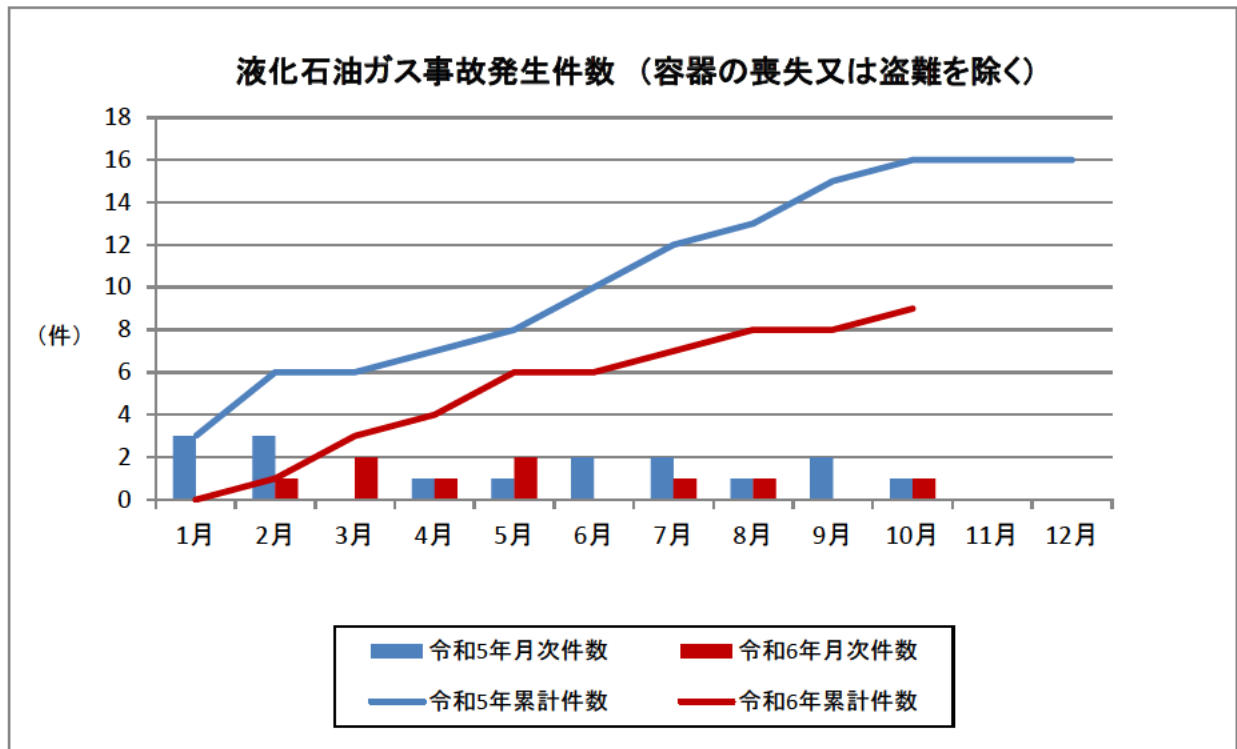
※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。
 ※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○液化石油ガス法(液化石油ガス関係事故措置マニュアル)関連

事故の種別		令和6年10月分				前月件数	前年同月件数	令和6年累計				令和5年累計			
		件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
			死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
漏えい						0	0	4	0	0	0	8	0	0	0
漏えい爆発		1			1	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1
漏えい火災						0	1	1	0	0	2	3	0	0	1
中毒・酸欠						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 計		1	0	0	1	0	1	7	0	1	3	12	0	0	2
雪害	漏えい					0	0	2	0	0	0	4	0	0	0
	漏えい爆発					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	漏えい火災					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0
合 計		1	0	0	1	0	1	9	0	1	3	16	0	0	2
容器の喪失又は盗難		2				0	2	8	0	0	0	5	0	0	0
報 告 総 計		3	0	0	1	0	3	17	0	1	3	21	0	0	2

※ 各県から速報のあったものを計上しています(以下、火薬類事故まで同様)。

※ 雪害には、除雪、屋根からの雪下ろし等の人為的なものは含めず、一般事故として集計しています。



◆令和6年(2024年)の事故概要

○液化石油ガス法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2024年10月7日	秋田県	消費者	漏えい 爆発	保育園で給食調理中、調理員がガス回転釜の種火が消えているのに気がつき、点火したところ小爆発が発生し、火傷を負った。原因は、別の調理員が回転釜の種火の着火状態を確認しないまま持ち場を離れ、不着火の種火バーナーからガスが漏えいしていた状態で、種火をつけようとした調理員が点火したことにより、小爆発が発生したものと推定される。	人的被害:軽傷1名 物的被害なし
2024年8月21日	青森県	LPガス事業者	漏えい	現場アパート付近を散歩していた近隣住民からガス臭いと消防に通報が入り、事業者が現場確認したところアパートの50kg容器2本が空になっていた。事業者が機器の検査したところ、供給設備及び消費機器に異常はなく、漏えいの原因は不明。	なし
2024年7月14日	山形県	消費者	漏えい 火災	キッチンカーで5kg容器をフライヤーに接続し調理していたところ、漏えいしたガスに引火し出火に至った。原因は、フライヤーの火が消えたため、容器を交換しようとした際、容器と調整器の接続部から漏えいしたガスに他のフライヤーの火が引火したものと推定される。	人的被害:軽傷2名 物的被害:キッチンカー1台焼損
2024年5月23日	福島県	消費者	漏えい 爆発	精肉店において、業務用フライヤーに点火する際に、滞留したガスに引火したものの。原因は、器具栓を開放しつつ、火花しか出なくなった着火用ライターで何回か点火を試みた間に、ガスが滞留し着火用ライターの火花が引火したものと推定される。	人的被害:重傷1名 物的被害:なし
2024年5月23日	青森県	他工事事業者	漏えい	戸建住宅の建築にあたり、工事事業者が重機により掘削を行ったところ、既設の埋設ポリエチレン管を損傷し、LPガスが漏えいしたものの。原因は、ハウスメーカーが、販売事業者に工事の事前連絡を行わず、工事業者にも埋設管の情報を連絡しなかったため、工事業者が埋設管を認識せずに掘削作業を行ったことによるもの。	なし
2024年4月20日	福島県	LPガス事業者	漏えい	消費者からガスが使えなくなったと販売事業者に通報があり、担当者が確認したところ20kg容器2本が空になっており、自動切替式調整器と高圧ホースの接続部からガスが漏えいしていたことを確認した。原因は、調整器交換時に高圧ホースの締め込み不足によるものと推定される。	なし
2024年3月12日	青森県	消費者	漏えい	消費者が大きな音を聞き外を確認したところ、容器付近から噴出音がしたためガス漏れと判断し、販売事業者に連絡した。販売事業者担当者が現場到着したときは、容器閉栓済みで連結用高圧ホースの容器との接続部の折損を確認した。原因は、屋根からの落雪が供給設備に当たったことによるもの。	なし
2024年3月10日	岩手県	消費者	漏えい	消費者がガスコンロを使用しようとした際、点火しなかったため、供給設備を確認したところ、調整器の接続部が折損しているのを確認し、販売事業者に連絡した。原因は、屋根からの落雪が調整器に当たったことによるもの。	なし
2024年2月26日	岩手県	LPガス事業者	漏えい	消費者からガス臭いとの連絡があり、販売事業者担当者が出勤して漏れは確認できなかったが、調整器の有効期限が間近であったことから調整器を交換した。事業所において検知液を使って調整器を再検査したところ、調整器本体からの漏えいを確認した。原因は、販売事業者の認識不足により、リコール対象品の回収・取替がなされなかったことによるもの。	なし